赤十字血液センターだより

「血液事業をとおして、みなさまの幸せに貢献する」との願いを込め、
幸せの「幸（さち）」と「血潮（ちしお）」を組み合わせ、名付けられました

さちしお

Vol. 158
2026 Oct.



血液製剤の観察



なぜ？なに？おしえて！献血

模擬献血

石川県赤十字血液センターHP

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

石川県赤十字血液センター

「なぜ？なに？おしえて！献血」を開催しました！









7月18日（土）・20日（月・祝）の２日間、石川県赤十字血液センターにおいて、小学４～６年生の児童とその保護者を対象とした「なぜ？なに？おしえて！献血」を開催しました。

当日は、「血液はかせ」による講和を通じて、血液の働きや献血の重要性について学び、模擬献血体験では、献血の流れや仕組みを楽しく体験しながら理解を深めていただきました。

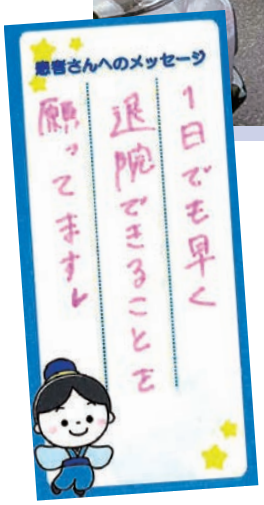
さらに、実際に医療機関へ供給される血液製剤の観察や、献血バス・緊急車両への乗車体験など、血液事業に関するさまざまなプログラムを実施しました。

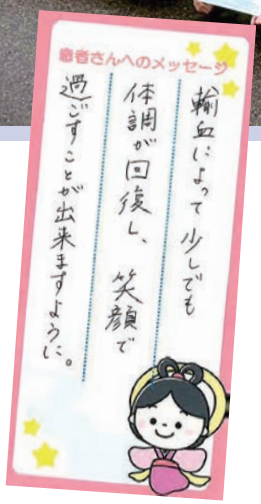
参加した子どもたちは、楽しみながら献血について学び、血液の大切さや命をつなぐ献血の役割について理解を深めていました。

今回の体験が、献血をより身近に感じ、その重要性について考えるきっかけとなれば幸いです。

七夕献血キャンペーン2026を開催しました







７月５日（日）、県内で献血の呼びかけ活動などを行う学生ボランティアが、アピタ松任店と献血ルーム ル・キューブの２会場において、「七夕献血キャンペーン2026」を開催しました。

当日は、県内の医療機関から寄せられた輸血を受けられた患者さんからの感謝のメッセージを展示しました。また、来場者の皆さまには短冊に患者さんへの温かい応援メッセージをご記入いただきました。

直接言葉を届けることはできませんが、皆さまの思いが患者さんへの支えとなることを願っています。

このキャンペーンは、患者さんと献血者をつなぐ心温まる機会となりました。

永年献血

献血ルーム くらつき

鍋島（なべしま）　均（ひとし）さん



最後の献血

20歳頃に初めて献血をした際、自身の血液型が「B型Rh(−)」であることを知りました。希少な血液型であることを知ってからは、同じ血液型の方々の助けになればとの思いで献血を続けてきました。
献血の基本は「互助の精神」にあると思います。私は70歳を迎え、今回で献血を卒業しますが、若い世代の皆さんにも献血の大切さを知り、協力していただければうれしく思います。

岡本（おかもと）秀夫（ひでお）さん



最後の献血

約25年前に成分献血を勧められたことをきっかけに、血液製剤の安定確保に少しでも役立てればとの思いで献血を続けてきました。
会社のプロフィールに「趣味は献血」と記載するほど献血が生活の一部となり、60歳からは70歳までに400回達成を目標に取り組みました。その結果、誕生日の前日に411回を達成することができました。
長年温かく接してくださったスタッフの皆さまに感謝しています。

献血ルーム ル・キューブ

松本（まつもと）　準（じゅん）さん



最後の献血

いつも元気なお姿で献血にご協力くださっていた松本様。
血液の大切さを知ったことをきっかけに、成分献血という方法があることを知り、長年にわたり献血を続けてこられたそうです。
「まだまだ献血ができるので、年齢制限を延ばしてほしいくらいです」と笑顔でお話しくださいました。
これからはぜひ周囲の皆様にも献血の大切さをお伝えいただき、多くの方の献血へのご理解とご協力の輪が広がることを願っております。

田丸（たまる）　登志子（としこ）さん



最後の献血

ご家族が病気で医療のお世話になった経験から、「少しでも役に立てたら」と社会人になってから献血を始め、長年継続してこられた田丸様。
「患者さんからのメッセージを読むたびに、もう1回、もう1回と回数が増えました。スタッフの皆さんにも感謝しています」とお話しくださいました。
いつも素敵な笑顔でご来所くださり、ありがとうございました。長年にわたる温かいご協力に心より感謝申し上げます。

団体献血

みんなで献血

石川県管工事協同組合青年部会の皆様が献血にご協力くださいました

石川県管工事協同組合青年部会様には、組合活動の一環として毎年２回の団体献血にご協力いただいています。
今回も９名の皆様にご協力いただき、安定的な血液の確保につながりました。
皆様からお寄せいただいた善意により、多くの患者さんへ血液をお届けすることができました。
ご協力いただき、誠にありがとうございました。



CHECK

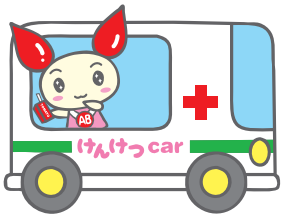
つなげよう献血キャンペーン実施中！
～東海北陸７県で実施しています～

献血バスでは、「つなげよう献血キャンペーン」を実施しています。

医師の問診や看護師による事前検査の結果、

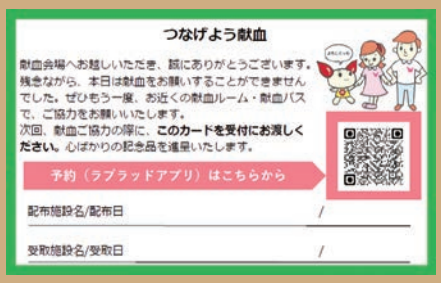
- 血圧や脈拍が高かった場合
- 風邪薬等を服用していた場合
- 予防接種後の献血可能期間に達していなかった場合
- 血色素量（ヘモグロビン値）が基準に満たなかった場合

などの理由により、当日に献血をご遠慮いただくことがあります。



そのような方へ、次回の献血につなげていただくために**「つなげよう献血カード」**をお渡ししています。

【つなげよう献血カード　表面】



【つなげよう献血カード　裏面】



カードを受け取った方が後日献血にご協力いただいた際には、ささやかな記念品として**けんけつちゃん缶バッジをプレゼント**しています。
（なお、缶バッジがなくなり次第、けんけつちゃんタオルへ変更となります。）

当日献血をご遠慮いただいた方も、献血可能となりましたら、ぜひ再度ご協力をお願いいたします。一人ひとりの献血が、輸血を必要とする患者さんへ命をつなぐ力となります。

※献血ルーム・献血バスのいずれでもご利用いただけます。
※東海北陸７県内であれば、カードを受け取った県と献血した県が異なる場合でも対象となります。



献血ルーム くらつき

採血ベッドにタブレットを導入予定！

令和８年秋頃より、献血ルームくらつきの採血ベッドに設置しているテレビを、タブレットへ変更する予定です。

タブレットでは、テレビ視聴のほか、インターネットの閲覧や動画視聴などが可能となり、より快適に献血の時間をお過ごしいただけるようになります。

今後も、献血にご協力いただく皆さまに快適な環境を提供できるよう努めてまいります。ぜひ献血ルームくらつきをご利用ください。



編集･発行　石川県赤十字血液センター　〒920-0345 金沢市藤江北4丁目445番地　TEL 076-254-6300　FAX 076-254-6427